

而今

-にこん-

Vol.8 冬号



荒田校区合同防災イベントの様子

荒田校区合同防災イベントを開催しました

[Column] トイレのことで困っていませんか
キラメキテラスヘルスケアホスピタル 泌尿器科科長 内田 洋介

而今(にこん)
禅語の一つで、過ぎ
去った昨日やまだ来て
いない明日にこだわら
ず「今」この瞬間を精一
杯に生きることの大切
さを説いています。

[Close up]

○臨床工学技士

[Interview]

○職員紹介

[Seasonal Report]

○世界結核デー

[Report]

○キラメシ

○INFORMATION

医療法人 玉昌会

キラメキテラス
ヘルスケアホスピタル

<https://www.kthc-hp.com>



荒田校区合同防災イベントを

開催しました



合同トリアージ訓練の様子

11月23日(日)勤労感謝の日に、ヒューマンライフライン協議会(公益社団法人昭和会、医療法人玉昌会、南国ホテルズ株式会社)は、地域住民が自らの安全を守る意識を高め、災害時に互いに助け合える体制づくりを推進すること、また、近隣校区との連携を深め、地域全体としての防災力・対応力の向上を図るために、包括連携協定を締結した荒田校区コミュニティ協議会と合同防災イベントを実施しました。

当日は快晴に恵まれ、大人から子供まで幅広い世代の方々、70名を超える地域の皆さまが参加し、体験

(トリアージ訓練、消火器使用訓練、炊き出し訓練、新聞紙スリッパ作成など)や展示(ドクターカー・消防車展示、ドローン飛行デモなど)を行いました。また、防災講話として、鹿児島大学共通教育センター准教授の井村隆介氏をお招きし、「火山災害に備えて」をテーマに学びの深まるお話を頂きました。

これからも、イベント等を通じて地域の防災活動に貢献できるよう、荒田校区と連携して取り組んで参ります。



防災講話の様子



炊き出し訓練の様子



消火器の使用方法説明



鹿児島大学共通教育センター
井村准教授



新聞紙スリッパ作成



ドローン飛行デモ



消火器使用訓練の様子

Column

コラム

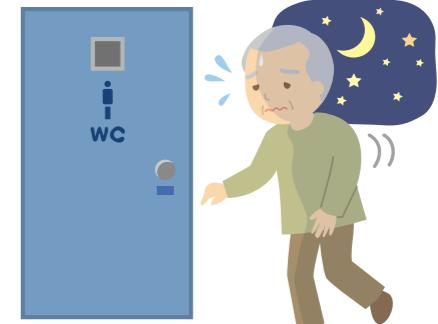
トイレのことで困っていませんか 一年のせいとあきらめないでください

「トイレが近くなった」「夜中に何度も起きてしまう」「急に尿意を感じて間に合わない」このような排尿の悩みは、年齢を重ねるにつれて多くの方が経験されます。そのため、「年のせいだから仕方がない」「誰でも同じだろう」と思い、周囲に相談せずに我慢している方も少なくありません。

しかし、排尿のトラブルは、毎日の生活に大きな影響を与えます。外出中にトイレの場所が気になって不安になったり、夜中に何度も目が覚めて疲れなくなったりすると、体の疲れが取れず、気持ちまで落ち込んでしまうことがあります。トイレの問題は、生活の快適さや元気に過ごすための大切な要素のひとつです。

排尿の悩みには、さまざまな原因があります。男性では、前立腺という臓器が年齢とともに大きくなり、尿の通り道が狭くなることで、尿が出にくくなることがあります。尿の勢いが弱くなる、時間がかかる、出し切れた感じがしないといった症状がみられます。女性では、筋肉の衰えや出産の影響などにより、くしゃみや咳をしたときに尿がもれる、急に強い尿意を感じるといった症状が起こりやすくなります。

こうした症状は、きちんと調べて治療する



ことで、楽になる場合が少なくありません。お薬による治療のほか、トイレの習慣を見直したり、簡単な体操を続けたりすることで改善が期待できることもあります。泌尿器科では、患者さん一人ひとりの体の状態や生活の様子をうかがいながら、無理のない治療や対策を一緒に考えていきます。

「こんなことで病院に行っていいのだろうか」「もう少し我慢しよう」と思われる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、排尿の変化は体からの大切なサインです。早めに相談することで、症状の進行を防ぎ、より安心して日々を過ごせるようになります。泌尿器科は、トイレの不安を減らし、毎日を気持ちよく過ごすためのお手伝いをする診療科です。どうぞお気軽にご相談ください。

Profile プロフィール

キラメキテラスヘルスケアホスピタル

泌尿器科科長

内田 洋介

所属学会

- 日本泌尿器学会 専門医・指導医
- 日本性機能学会 専門医
- 日本性感染症学会 認定医
- 日本思春期学会 理事・性教育認定講師
- 日本GI(性別不合)学会 認定医
- 日本性科学会 参与・認定セックスセラピスト
- 日本生殖医学会
- 日本がん治療認定医機構 がん認定医



臨床工学技士

病院ではどんな職業のスタッフが働いているイメージをお持ちでしょうか。医師や看護師、薬剤師などたくさんのスタッフがそれぞれの専門性を発揮して、日々チーム医療を行っています。



今回ご紹介する「臨床工学技士」は「Clinical Engineer(通称CE)」とも呼ばれ、生命維持装置の操作や、多種にわたる医療機器の保守点検・管理を主な業務としている医療機器のスペシャリストです。

医療機器のスペシャリストである臨床工学技士の活躍の場は、病院の機能や規模によって大きく変わります。例えば心臓の手術を担当する病院では、心臓や肺の代わりに人工心肺の装置を使用する必要があり、手術中その機械の管理を臨床工学技士が担当します。また、当院のように



血液透析治療を行っている病院では、人工透析機器の管理や操作、患者さんへの穿刺なども行っており、その他にも人工呼吸器や輸液ポンプなど医療に必要不可欠な機器を管理するため、医療機器が必要な現場には必ず臨床工学技士が必要です。

現在の医療には様々な医療機器を使用しているため、そういった機器をいざというときに使用できるよう管理している臨床工学技士は、まさにチーム医療の「縁の下の力持ち」というべき存在の職業になります。

臨床工学技士が誕生した背景には医療の発展に伴う医療機器の多様化があります。1950年頃より病院への医療機器が普及し始め、最初は医療機器の管理や操作に決められた職種は無く、他の国家資格を持ったスタッフが機器を扱うこともありました。

医療機器の普及や医学の発展とともに、医学・工学の知識を持つた専門職が医療現場で活躍することになり、その後1987年に臨床工学技士の国家資格が誕生しました。

当院には常勤・非常勤含めて8名の臨床工学技士が在籍しています。透析に携わる機器の管理・操作以外に、病院内にある医療機器の点検や操作、職員への教育を担っています。臨床工学技士はいのちのエンジニアとも呼ばれます。今後も医療の発展とともに医療現場での臨床工学技士の存在はさらに重要で必要不可欠な職種となっていくと思われます。



職員紹介



今村 将希

○職種…臨床工学技士
○勤務年数…5年

Q. 臨床工学技士のお仕事内容を教えてください

①透析の機器準備やシャント(透析治療用につなぎ合わせて作った特別な血管)への穿刺業務、②健診や外来での内視鏡業務、③医療機器の管理・点検、④酸素や吸引など診療に使用する医療ガスの管理、⑤シャントが正常に流れているかエコー・血圧測定の検査業務などです。

Q. 一日のスケジュールを教えてください

当院では早出と日勤の2つのシフトがあります。

- | | |
|-----|--|
| 7時 | 透析に使う薬液の測定、午前中の透析患者さんの準備、患者さんへの穿刺・透析開始操作、透析開始後のチェック |
| 9時 | 午後からいらっしゃる透析患者さん用の物品やその他の準備 |
| 11時 | 休憩 |
| 12時 | 透析の完了した血液を患者さんの身体へ戻す作業、午前の透析終了操作、午後からの患者さんの穿刺・透析開始操作、透析開始後チェック |
| 14時 | 翌日の透析患者さん用物品準備・透析を行う管や部品の回路組み立て、掃除 |
| 16時 | 透析の完了した血液を患者さんの身体へ戻す作業、透析終了操作 |

透析開始前後にシャントエコー等の検査業務を行い、また平日には9時から外来での内視鏡業務に

も補助として入ります。そのほかにも合間の時間で院内の医療機器の点検周りを行っています。

Q. 仕事の中で一番大変なことはなんですか?

透析や人工呼吸器の管理などチーム医療の一員として働く中で、医療機器に関して高度な専門的知識を求められる為、日々幅広い分野でスキルアップしていくなければならないことです。医療機器は常に最新の医療とともに進化していくので、その流れについていくように日々勉強です。

Q. 臨床工学技士の魅力を教えてください

透析を行うための血管は治療による血管へのストレスや、脱水・圧迫などが原因で血液の流れが悪くなってしまうことがあります。日々のシャントエコー検査でシャントの流れを確認し、血流が悪い部分を避け、穿刺困難な患者さんの新たな穿刺場所を確保できた時、検査の重要性を再確認し、自身のスキルアップ・やりがいを感じます。

また、透析に使用する針はとても太いので、患者さんは穿刺に痛みを感じると治療に前向きになれなくなってしまうこともあります。患者さんの負担を和らげながら、治療に協力してもらえるように日々試行錯誤していますが、その中で患者さんから「痛みが少なくて助かった。とても上手だから、またあなたにやってもらいたい。」とお言葉をいただいたときにうれしい気持ちになります。

世界結核デー

毎年3月24日はドイツの医師で細菌学者であるハインリヒ・ヘルマン・ロベルト・コッホが1882年同日に結核菌を発見したことになんて「世界結核デー」と定められています。結核と聞くと、昔の病気といったイメージがあるかもしれません。実際、昭和20年代までは日本の死亡原因第1位の病気で「不治の病」とも呼ばれていました。第二次世界大戦後、ワクチンの普及や薬剤の開発が進み、結核による死者数は大きく減っています。しかし現代でも毎年約10,000人の方が感染・発症しており、2024年の結核による死者数は1,461人となっています。結核の感染・発症は高齢者に多く見られますが、最近は20代の患者数も増えてきています。患者数は全体的に年々減少傾向ですが、それとともに関心が薄れ、正しい予防や対策を講じていないことが若い世代の患者増の要因と言わ



れています。また、発症したとしても結核と気付かず、受診が遅れるケースもあるようです。結核の症状としては咳、痰、発熱、体のだるさなど風邪に似た症状が2週間以上続くのが特徴です。重症化すると吐血や呼吸困難などの症状がみられます。

感染・発症予防には日々の手指衛生・マスク着用に加えて、規則正しい生活や、良質な睡眠をとり、体の免疫力を高めることが重要です。結核は若い人もかかる病気です。自分は大丈夫とは思わず、しっかり感染対策に意識を向け、症状があるときは早めに病院を受診しましょう。

キラメンシ

食事をのぞけば、玉昌会が見えてくる



法人本部に

ひる
后
が来た

医療法人 玉昌会
法人事務局
地域共生社会推進部
眞邊さん



おにぎり



食後の
みかん

ソース
とんかつ

490
Kcal

「トリマッカシー」がつなぐ距離

「本部」と呼ばれる場所が今回の職場。ここは、病院のさまざまな仕事が集まる場所。「こんなことまで病院の仕事なんだ」と驚くような業務も、ここでは日常です。その中で「地域共生社会推進部」の眞邊さんは、外国人職員の受け入れや、高齢者施設との連携まで、病院と地域をつなぐ役割をなっています。

そんな眞邊さんのお弁当事情。「子どもたちのついでに作ってもらっているんですよ」と、どこか複雑な表情で語る“愛妻弁当派”。いやいや、お弁当って、1つと2つじゃ手間がまったく違うんですよ。奥さまの朝の段取り力に、こちらまで頭が下がります。

ところが今日は、なんと高校生の息子さんが作ったお弁当。毎朝、部活のために早朝から学校へ送り届けているお父さんにとっては、これはもう“ごほうび弁当”。嬉しくてニヤけちゃうね。

どんどん構えた大きめのおにぎりは、育ち盛り男子エネルギーを感じます。配置も見事で、長男さんのセンスに思わず拍手です。

お野菜がもう少し欲しいところは、故郷・屋久島のみかんがフォロー。故郷の香りとたっぷりのビタミンCが疲れた心と体をしっかりとサポート。ダブルの癒し。カロリー490kcalは男性には控えめ。昼休みに筋トレをされるなら、ゆで卵などの良質なたんぱく質をひとつ追加するとより理想的。奥さまに朝のゆで時間10分追加をお願いしてみてください。言う時はタイミングが大事ですよ。

最後に、眞邊さんといえば外せないのがインドネシア語「トリマッカシー」。ずいぶん前から繰り返し使っているお気に入りの言葉。「ありがとう」という意味だそうです。インドネシア出身の職員さんからも「発音が上手」と太鼓判を押されているとか。

家族に、同僚に、地域に。感謝の気持ちを大切にしている眞邊さんらしい言葉です。

文/管理栄養士 川上 小夜子

INFORMATION

イベント報告 11/18㊱ カマチグループ巨樹の会 見学

医療・福祉分野で幅広くご活躍されているカマチグループ巨樹の会の関東エリア(東京・埼玉)の方々8名様がご来訪され、当院の特徴である、ゼロ動線病棟、縁側廊下、いまいれ総合病院と繋がるアトリウム等を見学されました。これからも全国の医療機関のモデルになれるよう、様々な医療機関との連携を深めて参ります。



お知らせ 11/21㊱ きら・キラ保育園の可愛い園児たちからプレゼントをいただきました

勤労感謝の日を前に、同じキラメキテラス街区にある「きら・キラ保育園」の園児たちが「ありがとう」と書かれた手作りのプレゼントを病院へ届けてくれました。

園児たち、そして保育士の皆様、本当にありがとうございました。温かい心遣いを胸に、さらに頑張って参ります。



お知らせ 1/8㊱ 上村院長がKISSEI KUR(キッセイクール)の取材を受けました

当院上村院長が、KISSEI KUR(キッセイクール:キッセイ薬品工業株式会社)から「急性期から回復期・慢性期までまちづくりを通して切れ目のない地域医療を構築する」をテーマに取材を受けました。

いまいれ総合病院との連携による地域医療の取り組みや、当院独自の病棟空間やリハビリテーションについて、多世代が支え合う地域とのまちづくりについてお話をさせていただきました。

取材の模様は1月発刊分にて掲載予定です。



イベントのお知らせ

医療法人 玉昌会 地域公開講座 「未来社会をあなたとともに」

アイラブ・ヒアリングキラメキプロジェクト

～聴こえのヒラメキが人生を照らすキラメキへ～

今回の講演では、対話支援法の第一人者である中石 真一路先生をお迎えし、ヒアリングケアについてお話しいただきます。

開催日 2026年2月28日㊱

会場 姶良公民館(姶良市西餅田589)

時間 14:00~16:00
(開場13:30)

定員 200名 参加費無料

詳しい内容・
お申し込みは
こちらから



講師
中石 真一路 先生

NPO法人
日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会
理事長
株式会社聴覚科学総合研究所
代表取締役 所長



キラメキテラスヘルスケアホスピタル 外来担当医表(令和8年2月1日現在)

診療科目	午前・午後	月	火	水	木	金	土
内科	午前	田川	井上 寺田	鷺山 山中 志岐	有馬 大徳 横尾	上村	担当医
	午後	田川	井上	鷺山	津嘉山 川畑(史)	川畑(英)	
消化器内科	午前						
	午後				津嘉山		
肝臓内科	午前					上村	
	午後					川畑	
腎臓内科	午前						
	午後	担当医		担当医		担当医	
循環器内科	午前		寺田	志岐	有馬		
	午後						
糖尿病内科	午前	田川			横尾		
	午後						
呼吸器内科	午前			山中			
	午後						
心療内科	午前			鷺山			
	午後			鷺山			
整形外科	午前		川路				
	午後				川路		
泌尿器科	午前			内田		内田	内田
	午後	内田	内田				
皮膚科	午前	三好	三好	三好			
	午後					三好	
リハビリテーション科	午前						
	午後		担当医			担当医	
訪問診療	内科	午後	川畑(英)	山中		大徳	
	皮膚科				三好		
	泌尿器科					内田	

診療時間 ○午前9時～12時(受付時間 8時30分～11時30分) ○午後14時～17時30分(受付時間13時30分～17時)

※学会参加等のため休診や代診の場合がありますので、お電話等であらかじめご確認の上ご来院ください。(TEL: 099-250-5600)

玉昌会グループ

医療法人玉昌会 法人事務局
TEL: 099-226-8036株式会社 JOY
TEL: 099-227-5535キラメキテラス
看護小規模多機能型居宅介護 麗
TEL: 099-230-7122キラメキテラスヘルスケアホスピタル
TEL: 099-250-5600
トータルウェルネスセンター(巡回健診部門)
TEL: 099-203-0215居宅介護支援事業所 キラメキ
TEL: 099-203-0172加治木温泉病院
TEL: 0995-62-0001
加治木温泉病院介護医療院
TEL: 0995-62-0001JOYメディカルクリニック
TEL: 0995-73-3356
介護医療院おはな
TEL: 0995-63-8889
居宅介護支援事業所 ぬく杜
TEL: 0995-62-0106社会福祉法人 幸友会 かづみ保育園
TEL: 0995-62-0657WellBe Club
TEL: 0995-65-2020おはな別館
TEL: 0995-65-2040
看護小規模多機能型居宅介護 お福
TEL: 0995-65-1234

鹿児島県

